
中村学園大学
「栄養科学部 フード・マネジメント学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

平成28年1月
株式会社 進研アド

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2017年4月開設予定の「中村学園大学 栄養科学部 フード・マネジメント学科」新設構想に関して、卒業生の就職先として想定される企業の人材ニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア		北海道、青森県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、静岡県、長野県、岐阜県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、島根県、香川県、愛媛県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	792社
	回収数(回収率)	200社(25.2%)
調査時期		2015年10月30日(金)～2015年11月25日(水)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none">・人事採用への関与度・本社所在地・勤務先の主な業種・従業員数・正規社員の平均採用人数・本年度の採用予定数・採用したい学問系統・栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度・栄養科学部 フード・マネジメント学科の社会的必要性・栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生に対する採用意向・栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ



企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※本調査は、中村学園大学の新学科である「栄養科学部 フード・マネジメント学科」新設に対する需要を確認するための調査として設計したため、中村学園大学卒業生の就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、200企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は38.5%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は51.5%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、中村学園大学の所在地である「福岡県」が46.5%と最も多い。次いで、「東京都」が19.5%である。
- 回答企業の業種としては、「食料品製造業」が30.5%と最も多く、次いで、「一般飲食店・フードサービス」が22.0%と、栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の就職先として想定される業種の企業からの回答が多い。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が37.5%で最も多い。次いで、「50名未満」(24.0%)、「1,000名～5,000名未満」(13.0%)が多く、100名以上の比較的規模が大きい企業が半数以上を占める。

企業対象 調査結果まとめ

回答企業の採用状況

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「1名～5名未満」が30.5%で最も多い。次いで、「5名～10名未満」「10名～20名未満」が15.5%。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が45.0%で最も多い。次いで「増やす」が40.5%で多く、昨年以上の採用が予定されている様子。
- 回答企業の採用したい学問系統は、栄養科学部 フード・マネジメント学科の学問内容と関連する「生活科学系統（食物・栄養学、被服学、児童学など含む）」が56.0%である。

栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度

- 栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度(※)は、5項目中4項目で9割を超える。
- 栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度は、「A. 「食に関する科学的知識(栄養科学)」と「食をビジネスに結び付ける知識(流通科学)」の異なる視点を融合して学ぶことができるため、企業が求める即戦力人材として活躍できる。」(96.0%)が最も高い。次いで、「C. 九州の食関連企業へのインターンシップやフィールドワークなど、座学以外の学びのスタイルが多く盛り込まれており、実践力を養うことができる。」(92.5%)、「B. 地元の企業人(社長や研究開発部長・営業部長等)による、実際の現場のケースを題材にした実践的・専門的な授業が受講できる。」(91.5%)、「D. 食品表示検定や調理師やフードスペシャリストなど、食に関する多彩な免許・資格取得を目指すことができる。」(91.5%)が高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」＋「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

企業対象 調査結果まとめ

栄養科学部 フード・マネジメント学科の社会的必要性

- ・栄養科学部 フード・マネジメント学科の社会的必要性についての評価は、98.0% (196企業)と、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科であると答えている。

栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生に対する採用意向

- ・栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、90.5% (181企業)と、予定している入学定員100名を上回る採用意向がみられた。以下は属性別の結果である。

◇本社所在地別

- ・中村学園大学の所在地が含まれる「九州・沖縄」エリアの企業の採用意向は、90.2% (123企業中、111企業)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇業種別

- ・栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の就職先として想定される業種（「食料品製造業」、「食料卸売業」、「飲食料品小売業」、「一般飲食店・フードサービス」）の企業の採用意向は、157企業中、144企業と、予定している入学定員数を上回っている。

◇積極的に採用したい学問系統別

- ・積極的に採用したい学問系統が「生活科学系統」の企業の採用意向は、92.9% (112企業中、104企業)と、予定している入学定員数を上回っている。

◇新学科の特色魅力度別

- ・栄養科学部 フード・マネジメント学科の各特色に魅力ありと回答した企業の採用意向は、全ての特色で9割を超えており、予定している入学定員数を上回っている。

企業対象 調査結果まとめ

栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の 毎年の採用想定人数

- 栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生を「採用したいと思う」と答えた181企業へ、栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数は319名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

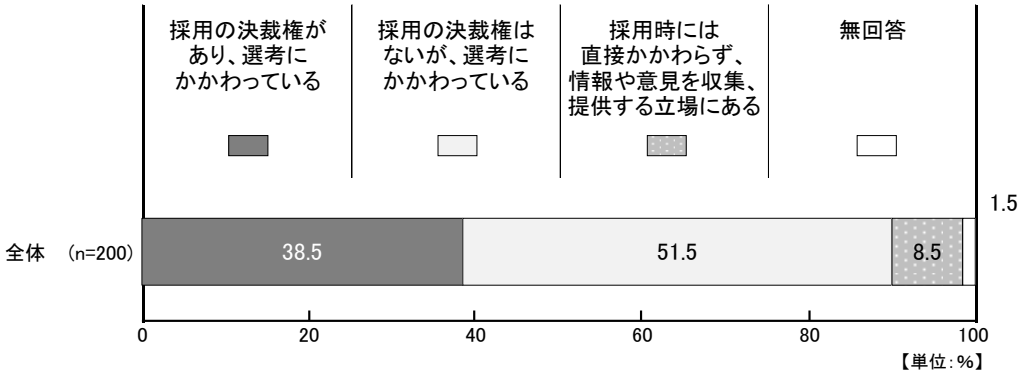
企業対象 調査結果



回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

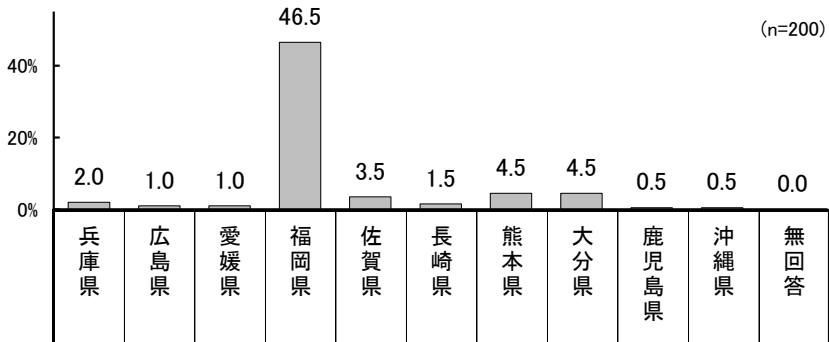
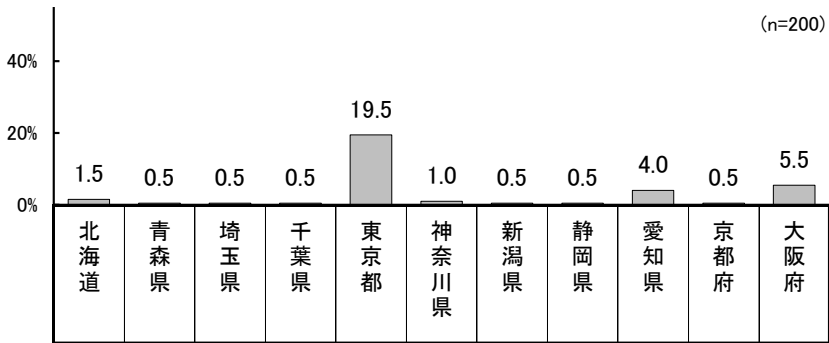
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

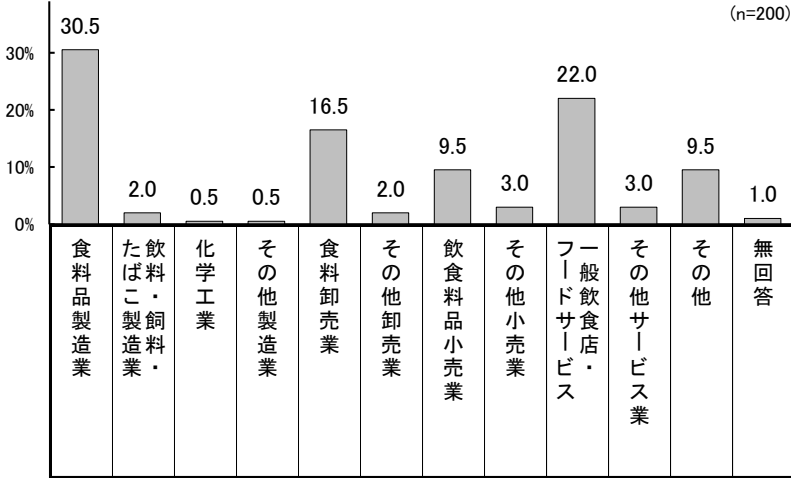
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種／従業員数)

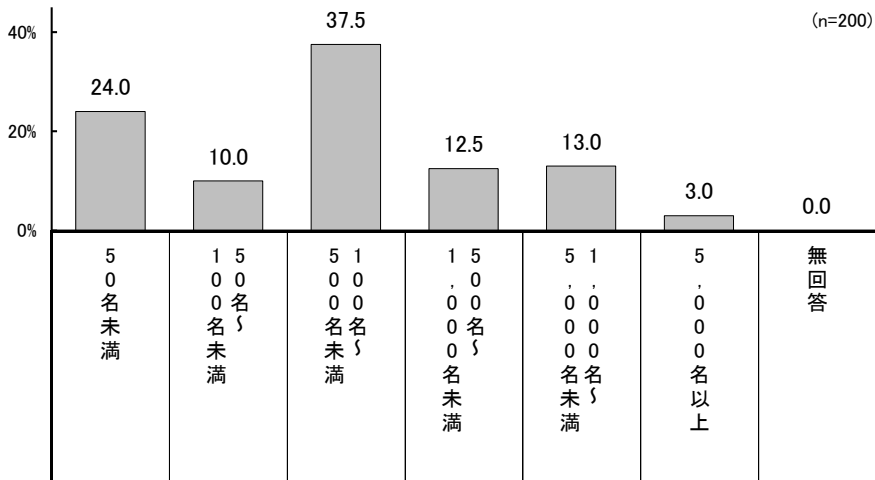
■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

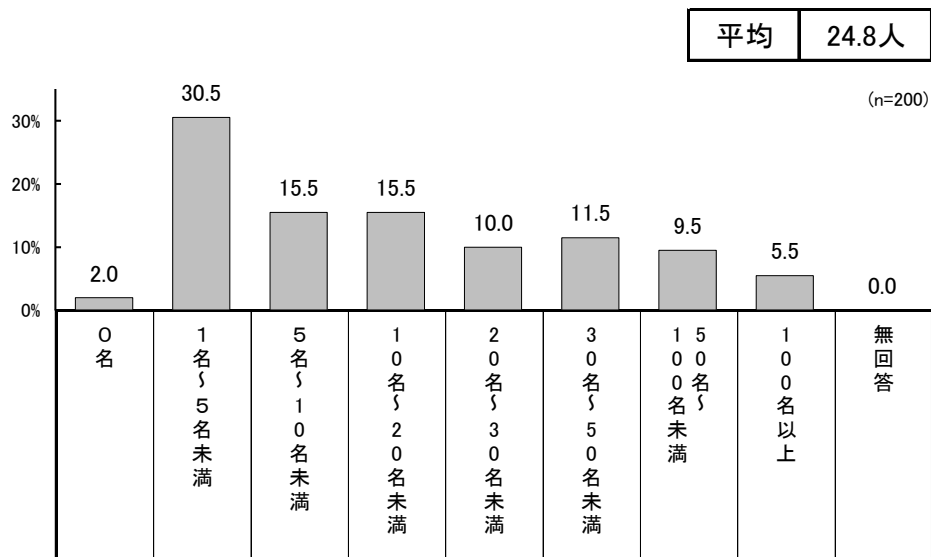
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

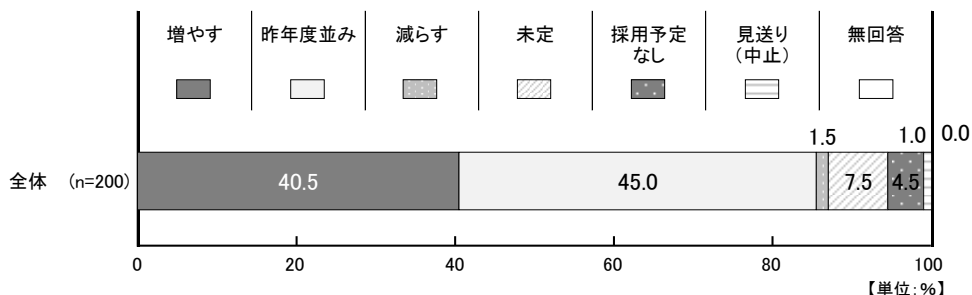
■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



■本年度の採用予定数

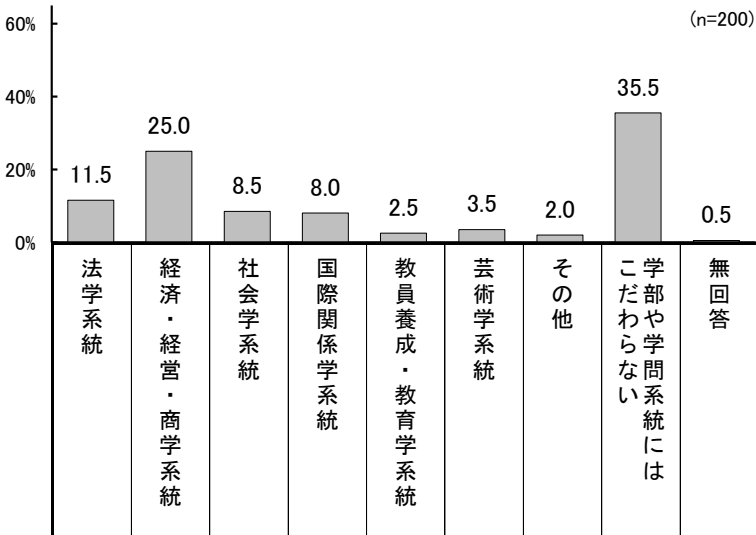
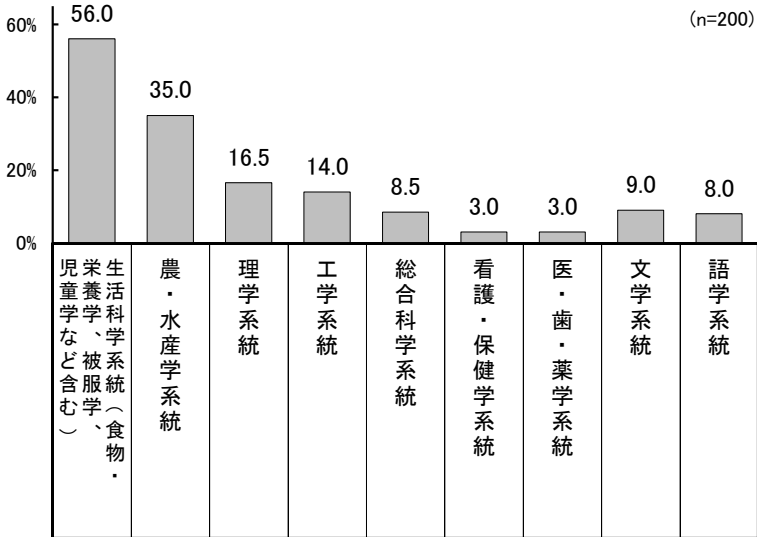
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問系統

■採用したい学問系統

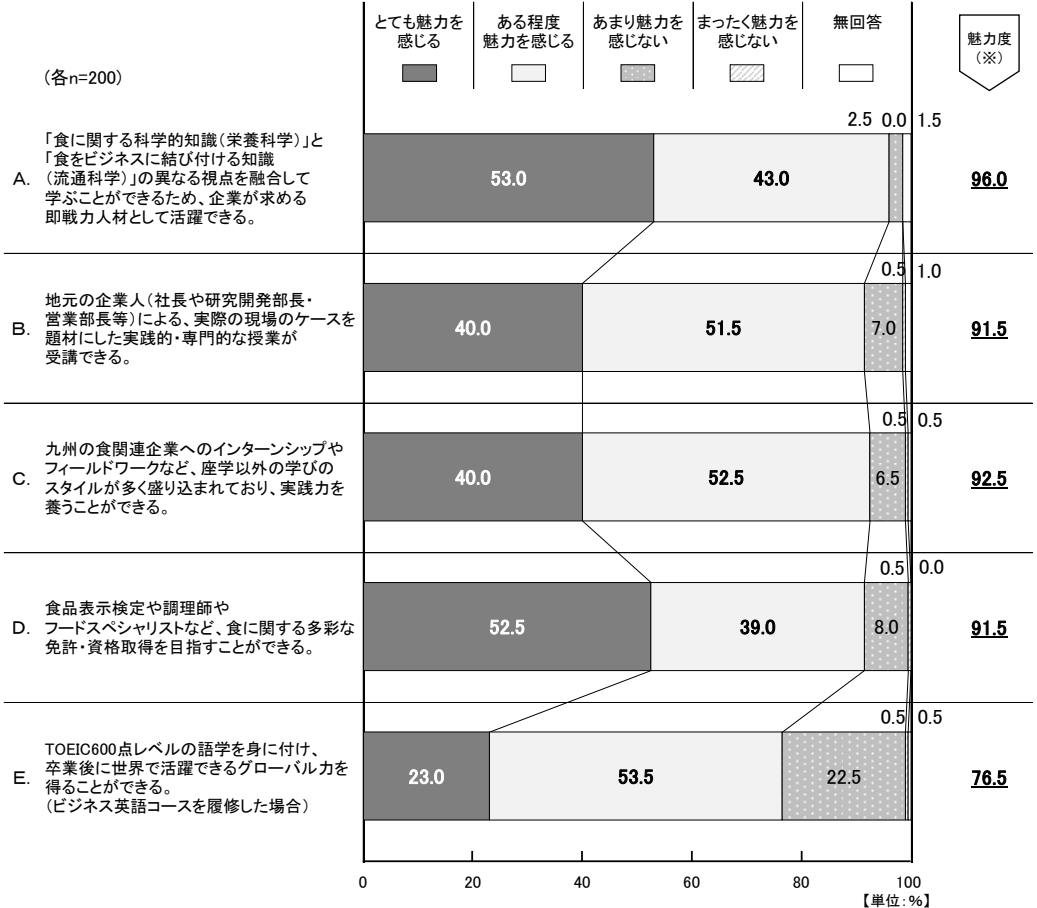
Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)



栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度

■ 栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度

Q8. 中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

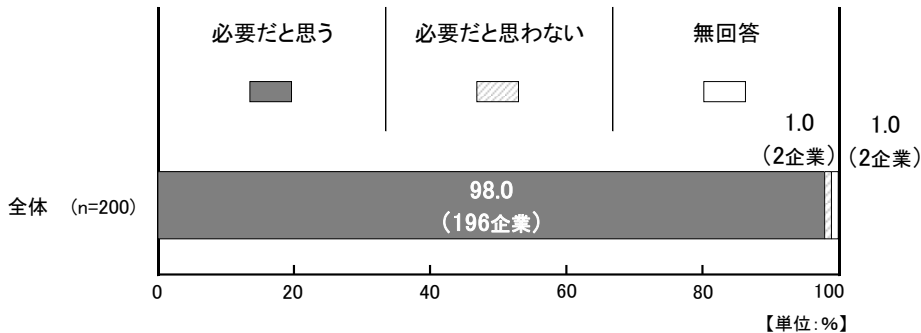


※魅力度＝「とても魅力を感じる」＋「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

栄養科学部 フード・マネジメント学科の社会的必要性／採用意向／ 毎年の採用想定人数

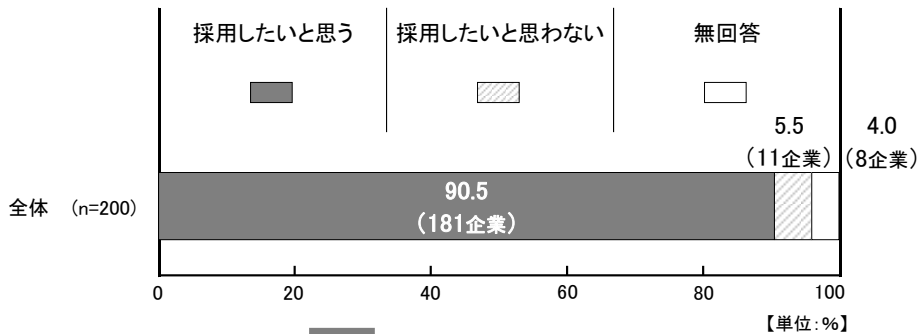
■栄養科学部 フード・マネジメント学科の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた181企業のみ抽出

■栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	計 ※ 毎年の採用 想定人数・ ⇒
全体	181	14.9%	11.6%	11.0%	0.6%	6.6%	1.7%	53.0%	
		27名	21名	20名	1名	12名	3名	96名	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名 を代入し合計値を算出

栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の採用意向

<属性別／栄養科学部 フード・マネジメント学科の特色に対する魅力度別>

■栄養科学部 フード・マネジメント学科卒業生の採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



卷末資料 調查票



企業対象 調査票

『中村学園大学 栄養科学部 フードマネジメント学科(仮称、設置構想中)』 に関するアンケート

中村学園大学では2017年(平成29年)4月より、「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称)を新設することを構想しています。

このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-----------------|------------|------------------|
| 1. 食料品製造業 | 5. 食料卸売業 | 9. 一般飲食店・フードサービス |
| 2. 飲料・飼料・たばこ製造業 | 6. その他卸売業 | 10. その他サービス業 |
| 3. 化学工業 | 7. 飲食料品小売業 | 11. その他 |
| 4. その他製造業 | 8. その他小売業 | () |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

裏面へ続く→

企業対象 調査票

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-----------------------------------|----------------|---------------------|
| 1. 生活科学系統
(食物・栄養学、被服学、児童学など含む) | 6. 看護・保健学系統 | 12. 社会学系統 |
| 2. 農・水産学系統 | 7. 医・歯・薬学系統 | 13. 国際関係学系統 |
| 3. 理学系統 | 8. 文学系統 | 14. 教員養成・教育学系統 |
| 4. 工学系統 | 9. 語学系統 | 15. 芸術学系統 |
| 5. 総合科学系統 | 10. 法学系統 | 16. その他() |
| | 11. 経済・経営・商学系統 | 17. 学部や学問系統にはこだわらない |

中村学園大学では、2017年(平成29年)4月に、
新しく「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称)を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。

貴社・貴団体 (ご回答者) にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	まったく 魅力を 感じない
例. ○○である。	→	1	(2)	3	4
A. 「食に関する科学的知識(栄養科学)」と「食をビジネスに結び付ける知識(流通科学)」の異なる視点を融合して学ぶことができるため、企業が求める即戦力人材として活躍できる。	→	1	2	3	4
B. 地元の企業人(社長や研究開発部長・営業部長等)による、実際の現場のケースを題材にした実践的・専門的な授業が受講できる。	→	1	2	3	4
C. 九州の食関連企業へのインターンシップやフィールドワークなど、座学以外の学びのスタイルが多く盛り込まれており、実践力を養うことができる。	→	1	2	3	4
D. 食品表示検定や調理師やフードスペシャリストなど、食に関する多彩な免許・資格取得を目指すことができる。	→	1	2	3	4
E. TOEIC600点レベルの語学を身に付け、卒業後に世界で活躍できるグローバル力を得ることができる。(ビジネス英語コースを履修した場合)	→	1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 採用したいと思う 2. 採用したいと思わない

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、中村学園大学「栄養科学部 フードマネジメント学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1名 3. 3名 5. 5名～9名 7. 人数は未確定
2. 2名 4. 4名 6. 10名以上

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～